

■プラン名:

生成AI・データ活用を授業に定着させる「情報科目・探究学習 実践プログラム」

■企業名:

株式会社SAMURAI

■このプランは、事業計画書の以下の項目に対応しています

1. 情報科目等の教科・科目の開設等

2. デジタル環境の整備と教育内容の充実

3. 理数系科目の充実

4. 情報・理数系学科コースの充実

●概要

情報Ⅰ(1)～(4)、情報Ⅱ(1)～(5)、総合的な探究の時間に該当

「情報」×「探究」の授業づくりを、 設計から実践まで支援。

＜対象＞

- 「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」や「総合的な探究の時間」において、教材や授業支援をご希望の学校・教員の方

＜期待される効果＞

- 生成AI・データ活用を「理解する」だけでなく「利活用できる」レベルまで定着
- 生徒が”身近なデータを根拠に考察し、活用できる”ように、資質・能力を向上
- 「情報」×「探究」の授業を横断的に実施し、IT分野の専門的な内容について授業支援を提供



●ポイント

特徴 01

情報×探究を横断的に整理する 研修設計

情報科目と探究学習を接続し、学習効果を最大化する実践的な研修設計を行います。既存のカリキュラムを活かしつつ、教科横断的な学びを実現します。

学校側の導入負担を最小限に

情報科目と探究の接続

- 📄 「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」単元との紐づけ
- 🔗 探究プロセスの連携

年間計画・探究テーマの整理

- 📖 問い・調査・分析・表現の連携
- 📅 年間指導計画との整合性

横断的な授業設計

- 👤 情報科目と探究の評価規準を整理
- 🔄 継続的な進捗管理のサポート

情報×探究についてトータルでのご支援が可能

特徴 02

教育経験豊富なエンジニアが 知識・技能×思考力を育成

教育経験豊富なエンジニアが、実践的な知識や技能と課題解決に必要な思考力の両面を育成。社会で通用する「生きた知識」を提供します。

👤 教員免許を持つエンジニアの講師 による直接指導

知識・技能の習得

- 🤖 最新の生成AI活用技術
- 📊 データ分析手法の習得
- 🔗 PythonやNoCodeでの実践
- 📈 統計に関する知識の応用

思考力など

- 🔍 問題発見力・課題設定力
- 🗣️ 論理的思考プロセスの習得
- 👥 社会実装を見据えた伴走支援
- 🎨 情報デザイン表現の工夫

特徴 03

校内で自走できる授業づくりを 支援

外部委託に頼りきりにならず、研修終了後も学校独自で継続・発展できる強固な体制づくりをサポートします。ノウハウを資産化し継承します。

STEP 1: ノウハウ定着

ナレッジの蓄積・形式知化

- 📄 授業設計シートの資産化支援
- 📊 評価ツールの整備支援

STEP 2: 体制整備

運用ルールの策定・共有

- 👤 校内研修リーダーの育成と継承
- 👥 教員間コミュニティの活性化支援

GOAL: 自走化

持続可能な授業運営体制

- 📅 次年度以降のカリキュラム運用におけるルールの策定
- 👥 校内リソースのみで自走できる状態に

基礎編①



情報リテラシー 情報モラル

情報社会の特徴
問題解決プロセス
セキュリティとモラルの基礎

基礎編②



データの活用 情報の表現

データの整理・分析
デジタル化の仕組み
目的に応じたグラフ表現

基礎編③



プログラミング 的思考・基礎

アルゴリズムの理解
Python基礎構文
(条件分岐・繰り返し)



実践・探究 データ処理演習

自分で問いを立て
データを収集・分析して
解決策を導く総合演習

応用編①



AI基礎・倫理 ガイドライン

機械学習の仕組み
AI開発・利用における
倫理と安全基準の理解

応用編②



TensorFlow Keras演習

ライブラリを活用した
ニューラルネットワーク
構築の基礎と実装ワーク

応用編③



画像認識モデル (CNN)構築

畳み込みNNの理解と
画像判定AIの
実装・評価



柔軟なカスタマイズ

授業の進度やご希望に合わせて
柔軟に調整可能です

✓ 「情報Ⅰ・Ⅱ」対応

✓ 総合的な探究の時間対応



基礎・表現

情報Ⅱ(1)

情報Ⅱ(2)

データの基礎理解・導入

教員様向けツール導入

Tableau基本操作とデータ接続・前処理の基礎を習得。実務での活用レベルを目指す導入研修。

- ✓ Tableauインストールとセットアップ
- ✓ データ接続・結合方法の基礎学習

グラフ作成力向上

グラフ選択の基本とデザインの基礎を学び、意図の伝わる可視化表現を実践。

色使いの基本

チャート選定

応用表現



分析・実装

情報Ⅱ(3)

情報Ⅱ(4)

実践データ分析演習

ペンギン生態研究

「南極のペンギン生態研究」をテーマに、仮説検証型のデータ探索と考察を実施。

- ✓ 性的二型（オス・メスのサイズ差）の分析
- ✓ 島による生息地・体格の違いの探索

前処理・予測モデル

実務レベルのデータ結合と前処理ユースケース、予測モデル作成の一例を学習。

データ前処理
結合の使い分け

予測モデル
ユースケース



探究・解決

情報Ⅱ(5)

高校様向け講義・発表

オーダーメイドカリキュラム

高校様の要望に合わせたオーダーメイド講義と、生徒による探究成果の発表。

高校様講義 > 成果発表 > 質疑応答

学習プロセス

60-90min×複数回

- 基本操作習得・データ接続
Tableauの基本操作と前処理学習
- 可視化力向上・応用編
グラフ作成力向上と応用表現の習得
- 探究成果の発表
90分の成果発表とオンライン質疑応答

本事例は、情報Ⅱ(1)～(5)の学習内容を特定単元に限定せず、「基礎・表現」「分析・実装」「探究・解決」の3段階で整理し、探究活動と連動させて段階的に学習を深めます。基礎理解から実践的なデータ分析、最終的な問題解決・発表までを情報Ⅱの正課内容として整理しており、各学校様の教育課程に合わせたカスタマイズが可能です。

✂ 情報カリキュラムで身につけた力を、探究の各段階で活用 します

STEP 1

問い設定

活用

生成AI活用



AIとの壁打ちで
興味を整理し、
具体的な問いへ

STEP 2

情報収集

活用

情報リテラシー



情報の信頼性・
信ぴょう性を見極め、
適切な情報源を選ぶ

STEP 3

整理・分析

活用

データの扱い方



アンケート結果を
表にまとめ、
グラフで傾向を可視化

STEP 4

考察

活用

論理的思考



データを根拠にして、
客観的に
意見を導く

STEP 5

表現

活用

伝える技術



根拠（データ）と
主張をセットにして
発表する

●参考価格

【条件】30名×1クラスの場合

項目	内訳	小計(税込)
学習コンテンツ(LMS)	生徒用	82,500円
授業・研修実施費	授業一式	330,000円
QA講師	各授業でのQA対応(1ヶ月)	33,000円
		合計:445,500円

【留意事項】

- 本価格は参考価格です。実施内容・回数・人数によりお見積りいたします。
- 本プランは契約前の提案内容であり、契約後に詳細ヒアリングを行い再設計します。
- 使用ツール・ライセンスは、学校環境により変更となる場合があります。
- 対面実施の場合、講師旅費は別途お見積りとなります。
- 授業・研修内容は、情報Ⅰ・Ⅱおよび総合的な探究の時間に柔軟に対応可能です。

DXハイスクールを含む豊富な指導実績と全国400名超のIT講師、実践的なオリジナル教材で質の高いIT教育を実現

強み

01

育成ノウハウ

DXハイスクールを含む豊富な育成実績で培ってきたノウハウを活かし、多様なIT課題に合わせた教育を提供



強み

02

講師

当社独自のトレーニングを受けた400名超の講師が学習者の目標達成を支援



強み

03

自社開発教材 学習支援システム

インプットとアウトプットができる実践的な自社開発教材、質問や相談ができる学習支援システムで学習をサポート



ご興味がありましたら、以下からお問合せください。

企業名：株式会社SAMURAI

電話：03-5790-9039

メール：bunkyo01@sejuku.net

ホームページ：<https://uschool.sejuku.net/>